

Pre 医療専攻だより

新潟県立小出高等学校 1 学年 Vol.1



4月19日（金）1 学年の医療講演会が行われ、魚沼市立小出病院長 布施克也先生をお迎えし、医療・福祉の仕事についてご講演いただきました。パワーポイントを使って医療や福祉の専門職について具体的な事例をあげながら、貴重なお話を伺うことができました。

《布施先生のご講演より》

医療や福祉の仕事は Life（命・生活・人生）を支える仕事であり、例えば健康な Life を保つための【保健】の中には、保健室の先生や、保健師、検診センターの職員、栄養士、健康運動指導士など様々な分野の仕事がある。また医療の仕事は 1 人で行うものではなく、様々な専門性を持った医療人がチームとなり、患者の最善の Life を支えるために携わっているということでした。



生徒にとっては入学して間もない時期ではありましたが、私たちの生活にとって身近な医療について考えるよい契機となったようです。将来、医療の道に進もうとして小出高校に入学した生徒もいるかと思いますが、そうでない生徒にとっても、その道のスペシャリストの生の声を聞くことができたのはとてもよい経験になったと思います。卒業後の自分自身の進路について、これからの様々な各種講演や総合学習の時間を活用してよく考え、その上で日々の学校生活を充実させて欲しいと思います。

《生徒の感想より》



・今回の講演を聞いて、たとえ将来自分の進む道が医療の道でなくても、人を支える仕事に就きたいと思うようになりました。だから、普段の生活から周囲の人を喜ばせることをしたいと思います。

・私は将来、薬剤師か看護師になりたいと思っているので今日の講演は非常に参考になりました。これからは自分自身で積極的に情報を集める努力をしたいと思います。

・先生の話の最後にあった「なりたい者になれるのはなろうと思った者だけだ。」の言葉が印象に残っています。まずはイメージを持つ。それから努力できる人になりたいと思います。